

手術に係る施設基準について

1 これまでの検討状況

- ・平成17年10月5日及び12日、中医協基本問題小委員会において、手術に係る施設基準について議論が行われ、「手術件数とアウトカムの関係に係る調査」について医療技術評価分科会でより詳細に評価・検証を行い、その上で基本問題小委員会において再度検討を行うこととされた。
- ・12月2日、医療技術評価分科会で評価・検証を行い、「手術の施設基準に係る調査の評価・検証について」を取りまとめた。

2 医療技術評価分科会における評価・検証結果

医療技術評価分科会報告書のとおり。

3 論点

(1) 手術件数と手術成績について

- ・現時点において、我が国では、患者の重症度等を考慮した手術件数と手術成績に関するエビデンスは極めて少ないことから、現行の手術に係る施設基準（症例数による加算）については、一旦見直すこととしてはどうか。
- ・今後、我が国における手術件数とともに患者の重症度等手術成績に影響すると考えられる医師の症例数等の他の因子も含めて調査を継続して行い、手術件数の増加により手術成績が一定程度以上向上することが明らかとなった時点で、診療報酬上評価を行うことを検討することとしてはどうか。

(2) 医療機関の手術に関する情報開示

- ・ 現行では、特定の手術について年間の手術件数を院内掲示しない場合等は減算することとされている。手術件数については手術成績との関係が我が国においては明らかになっていないものの、患者が医療機関を選択するに当たっての一つの情報であることから、引き続き、手術件数を院内掲示することとしてはどうか。
- ・ 患者が、様々な情報に基づき、自由に医療機関を選択することができるよう一層の情報開示を進める観点から、手術に係る情報開示の在り方（院内掲示する手術の範囲、手術件数以外の情報の開示、開示する情報に対する補足説明等）について、引き続き検討をすることとしてはどうか。